



# 謹 賀 新 年

多摩ハンドサッカー倶楽部

代表：雪琢馬

明けましておめでとうございます。昨年は当倶楽部の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしく願いいたします。

当倶楽部は昨年2月にコロンビアの女子ラグビーユースチームと、6月には公立小学校6年生にハンドサッカーと一緒にプレーすることが出来ました。特に2月のコロンビアの選手達とは、ハンドサッカー史上初の国際試合であったと思います。そんな貴重な経験が出来たことをとても嬉しく思います。また小学生とのハンドサッカーではクラス対抗戦を行いました。小学生たちはプレーも応援も白熱して、とても楽しそうでした。その姿に「ハンドサッカーは障がいの有無に関わらずすべての人々が楽しめるスポーツである」と確信することができました。

そして毎年開催している、当倶楽部主催「楽しもう!ハンドサッカー交流大会」は、昨年より日本ハンドサッカー協会の後援をいただくことができ、今後は当該大会だけでなく当倶楽部と日本ハンドサッカー協会と連携をとらせて頂くいく事になりました。このことはとても嬉しいことでもあります。

さて、本年3月で当倶楽部は設立10年を迎えます。10年前は特別支援学校

以外でハンドサッカーを行える場がなく、また東京以外には知られてないのは勿論、東京でも特別支援学校以外ではハンドサッカーを知らないという状況でした。それからの10年、徐々にではありますが全国にハンドサッカーが広まり、2013年には東京国体のオープン競技にも採用されました。当倶楽部においては2012年に障がい者と健常者が一緒になって参加できる「楽しもう!ハンドサッカー交流大会」の第1回を開催しました。更に2015年以降毎年ハンドサッカーの講演活動を行う機会に恵まれ、多くの方々にハンドサッカーを知ってもらい、一緒にプレーを楽しむことができました。

まさにこの10年は「ハンドサッカーを広げる」ことに力を注いだ10年でした。しかし、ハンドサッカーが広まったと言えどまだまだハンドサッカーに出会えてない方々はたくさんいます。これからもハンドサッカーを一人でも多くの方に広げ、そしてたくさんの人たちとハンドサッカーが出来ることを目指し、活動していきます。

最後に本年もハンドサッカーがより一層発展することを願っております。

平成30年正月

